

アザシチジン療法

血液内科

骨髄異形成症候群

ID

患者名

身長 cm

体重 kg

体表面積 m²

初回 ・ 継続 (前回 /)

印

印

★投与量

ビダーザ

75mg/m²

計算値

mg 点滴静注

10分

Day1~7

★ 点滴スケジュール

Day 1~7

※5HT₃拮抗剤=制吐剤(薬剤名は表紙参照)

生食 50mL+ 5HT ₃ 拮抗剤 1A 10分	生食 50mL+ ビダーザ+ 注射用水(1Vあたり10mLで溶解) 10分	生食 50mL+ (フラッシュ)
--	--	---------------------

★ 投与スケジュール...1クール 28日

次回クール

処方用量								
ビダーザ	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
(投与日)		1	2	3	4	5	6	7
		/	/	/	/	/	/	/

★ 注意事項

- ・高リスク症例対象
- ・1日短縮可能
- ・白血球数、好中球数、血小板数、骨髄細胞密度、腎機能などにより、投与量を減量することあり

[ビダーザ](非炎症性)

- ・5%ブドウ糖液、ヘタスターチ及び重炭酸塩を含む溶液との配合禁忌(本剤の分解を促進する可能性あり)
- ・注射用水で懸濁、溶解を行うこと(1V10mL)
- ・調製から1時間以内に投与を終了すること(安定性が低下するため)。懸濁液は2~8°Cで8時間まで保存可

・赤血球、好中球、血小板のデータは投与 1 サイクル目が低下しやすいため注意。

・データ低下の目安

	中央値
血小板数	17 日
成熟好中球数	25 日
ヘモグロビン濃度	17 日